

5年	国語	「学校生活アップ大作戦」	8時間
単元の目標	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。		【方向目標】 長期的 各個人に期待する最大限のレベルや成果を目指していく。
単元末における具体的な児童の姿	<p>A 自分の意見を理由や具体例と共に分かりやすく話し、他者の意見を聞いて自分の考えを広げ、より良い提案をすることができる。</p> <p>B 自分の意見を理由とともに話すことができ、他者の意見を聞いて考えを見直し新たな考えを導き出そうとしている。</p> <p>C 自分の意見を話すことができ、他者の意見を聞いて感じたことを述べるすることができる。</p>	実際	<p>A 自分とは異なる意見でも良さを見付け、チームの意見として取り入れようとチームに提案をしていた。</p> <p>B 自分の意見をワークシートにまとめてから、話し合いをすることで、理由とともに話すことができた。互いの意見をグループ分けすることができた。</p> <p>C 自分の意見を話すにとどまり、話を広げたり、深めたりすることには消極的だった。</p>
個人間差異	手だて		効果
① 到達度の違い	①・話し合いの虎の巻カードを用意し、共通な語彙を使えるようにする。 ・「話し合いレンジャー」(聞くレッド、話すブルー、広げるイエロー、比べるグリーン、まとめるブラック)を用意し、それぞれの立場を意識した話し合い方を出来るようにする。		◎ ○
② 興味・関心の違い	②・身近な課題として受け止めることができるよう、導入段階で、学習、遊び、友達などの柱を立てる。 ・CMを作り、発表するという目的をもたせることで学習意欲を高め、維持させる。		◎ ◎
成果	<p>・虎の巻カード(台本)が有効だった。話し合い活動の初めは台本を用意し、手順を明確化した。中盤では、型通りではなく、必要に応じて話題を広げたり、深めたりできるように台本の自由度を大きくした。</p> <p>・C児童に対しての支援として、司会者がC児童の言葉を引き出せるように、司会者にヒントカードを渡した。これによってC児童が話し合いに参加できるようになった。</p> <p>・めくりカード(出し合う、広げる、比べる、まとめる)を使い、視覚的に表示することで、チームとして切り替えて進めることができていた。</p>		<p>・C児童への支援として、次のような話型カードを用意したが、児童は活用出来なかった。</p> <div data-bbox="1034 1503 1426 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>★ポイント 「これを見てみよう」と一つ選ぶだけでOK! 声に出すことが大事です。</p> <p>・毎回の振り返りが自己評価にとどまった。児童が自分自身では気付きにくい部分、実際の話し合いの質を捉えるためには、相互評価も有効ではなかったか。</p>

虎の巻カード

話し合いの進め方 虎の巻 5年 組名前	
自分のため	グループのため
<p>①一人ずつ意見を出し合う。</p> <p>司会「それでは、これから〜という議題で話し合いを始めます。まず、一人ずつ、絵コンテを見せながら意見を言ってください。」</p> <p>聞くレッド 話すブルー</p>	<p>□考えを話す。</p> <p>・理由や根拠(なぜ、それがよいと思うか)。</p> <p>□相手の考えを認めながら話す。</p> <p>「確かに、その考え方も分かります。」</p> <p>「なるほど」「〜ということですね。」</p> <p>「つまり、〜ですね。」</p>
<p>②相手の考えについて質問したり、答えたりする。</p> <p>司会「意見が出そろいました。お互いの意見について、質問はありませんか。」</p> <p>イエロー</p>	<p>□自分の考えを示した上で質問する。</p> <p>□質問して、相手の考えをくわしく知る。</p> <p>・具体的に言うと、どういうことですか。</p> <p>・〜とは、例えばどういうことですか。</p> <p>・どちらが、〜ですか。</p> <p>・〜という点には、賛成(反対)です。</p>
<p>③相手の考えの共通点やことなる点を確認する。</p> <p>司会「出し合った意見を整理してみました。こちらを見てください。」</p> <p>グリーン</p>	<p>□相手の考えの共通点やことなる点を引き出させる。</p>
<p>④考えをまとめる条件を決めて、その条件にそって話し合う。</p> <p>司会「考えをまとめるための条件を決めましょう。何か考えがある人はいますか。」</p> <p>⑤グループの考えをまとめる。</p> <p>司会「では、このグループは、話し合いの結果、〜という意見にまとまりました。みなさん、よろしいですか、ありがとうございます。」</p> <p>まとめブラック</p>	<p>□考えをまとめるための条件を決める。(目的、相手に照らし合わせながら決める。)</p> <p>□条件にそって話し合い、グループの考えをまとめる。</p> <p>□意見をまとめるために、互いの考えを合わせたり、新しい考えを生み出したりする。</p>

意見が対立したときには、
 ・相手の意見をしっかりと聞き、受け止め、話を前に進めていくことが大切
 ・人と意見を区別する。(話し合いの中の意見は、全てよりよい結論を見つけ出すためのもの)
 ・温かい心で伝え合う。言葉の使い方への気配りが必要。

メモ

振り返りの視点

①相手の意見を聞いて気付いたこと

②自分の考えの広がり

③自分の考えの深まり

次に生かしたいこと

めくりカード

出し合う

順番に絵コンテを見せながら、考えを発表してください。

なるほど！ここが面白いと思います。

たしかに！その考えいいですね。

ほくも同じです。

司会

ヒント1
この考えに、同じところはありますか？

広げる

それぞれの考えに質問や付け足しはありますか？

ここに〇〇を入れたらどうですか？

どうしてこう考えたのですか？

ここは〇〇のようにしてみるのどうですか？

司会

ヒント2
- この考えに同じところはありますか
- それぞれのよさを出してみましょう。

比べる

出し合った意見を整理してみましょう。

〇〇と〇〇は似ています。

〇〇と〇〇の違いは、〜です。

ほくは〇〇に賛成です。

司会

ヒント3
- それぞれの良さをだしてみましょう。
- どちらがより優れていますか？

まとめる

それでは条件を決めましょう。目的と相手を確認しましょう。

この考えに〇〇を合わせると、どうでしょうか？

目的は、「〜をしよう」なので、〇〇がいいと思います。

相手は、〇〇なので、〜がいいと思います。

司会

ヒント4
- 1番大事なポイントをどこにしますか？
- 考えを合体することはできないでしょうか？

話し合いレンジャー



コツ・構え チェックシート

コツ 構え チェックシート

- 自分の考えを理由とともに伝える。
- 友達の考えに付け足しする。
- ほかにあるか聞く。
- 問い返す。質問する。
- 話し合いの目的(議題)を確認する。
- 次の話し合いの段階に進んでいるか、確認する。
- 共通点を見つけて、整理する。
- グループで意見をまとめる。

ふりかえり

1 2 3 4 5 6 7 8

A B C

A. うなずく B. 相手に聞こえる声で話す。 C. 共感する。(なるほど、たしかに)